

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生二)

発行/総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 高橋雅昭
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
<http://www.jyuji.ne.jp>
e-mail:info@g.jyuji.or.jp
印刷/大和印刷株式会社

2022
No.227

(聖句)喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



2022年元旦 新年挨拶会

あたらしき年のはじめにかくしこそ千歳をかねてたのしきをつめ

(この年の初めに当たり、皆で集い、千年も先の繁栄を心に描いて、楽しい事を山のように積み重ねましょう。)

(古今和歌集)

イルド

理事長 鈴木 淳司

「日々の中で」

「『ここにある』『あそこにある』
と言えるものでもない。実に、神
の国はあなたがたの間にあるのだ。」

ルカによる福音書

十七章二十一節

ある牧師が九歳になる娘と一緒に老人ホームを訪ねた時の事です。娘におしゃべりの好きな女性が話かけてきました。彼女は自身の子供の頃を物語ってくれました。その話は何度も何度も繰り返し話されました。娘はニコニコとその話を聞いていました。帰り道、牧師は娘に良く我慢して聞いてくれましたねと声をかけました。すると娘は疲れた様子もなく、「彼女は私たちに、何かを伝えようとしていたんじゃないわ。自分が、誰なのかを、私たちに話してくれていたのよ。」
九歳の彼女は、ちゃんとわかっていました。伝達ではなく交流の大切さを。

「BCP(事業継続計画)」について

御殿場十字の園施設長 高橋 雅昭

BCP(ビーシーピー)という言葉が最近に耳にする機会が増えてきました。BCPとは Business Continuity Plan の略称で事業継続計画と略すことができます。

何故最近BCPという言葉が注目されているかというと一番の理由が新型コロナウイルスです。ひとたび複数の職員などが感染してしまうと出勤が停止となり、

休む職員が増えると介護業務等を行うことが困難になってきてしまいます。また、新型コロナウイルスだけではなく、最近は全国的な地震の増加、世界規模で見ると火山の大噴火など国内だけではなく日本周辺でも心配なことが増えてきています。ひとたび地震が発生し、電気・ガス・水道などのライフラインが停止してしまうとたちまち業務に支障が生じてしまいます。しかしながら特別養護老人ホームやケアハウスで生活されている利用者の方々はすぐに避難することが出来ません。また、普段在宅介護を受けている方々にも何かしらの支援を行う必要があります。

そこで業務を中断させないように準備するとともに、中断した場合でも優先業務を実施するため、あらかじめ検討した方策を計画書としてまとめておくことが重要です。その計画書がBCPとなるわけです。

令和三年度の介護報酬の改定の大きな

柱の一つが「感染症や災害への対応力強化」であり、感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築することが求められました。そのため必要になるのが提供するサービスによっても分かれませんが、指針の整備や研修、訓練の実施等です。

御殿場十字の園では新型コロナウイルスに対するBCPは昨年作成し、ゾーニングやガウンテクニクなど、万が一感染等が発生した場合の対応について研修やシミュレーションは行ってきました。

また、災害に対応するためのBCPに關しても既に作成してあります。しかし、中身を見てみますと時代が変わると対応できない部分も増えてきました。また、備蓄についても前はあっても今はなかったり、また、置き場所が変わっていたりということもわかってきました。また、想定される災害についても災害の規模、内容、タイミングなどで対応が大きく変わってきます。

これから本格的な見直しに入っていきますがBCPを完成させて終わりではなく継続的に見直し、また訓練を行うことにより、震災等万が一の事があっても利用者の方々に安全・安心に過ごすことができる体制作りを行っていききたいと思えます。

「コロナ下での私たちの歩み」

御殿場教会牧師 小林 隆史



新型コロナウイルスの流行は、すでに第六波目におよ

び、人々の「またか」という思いを様々な形で見たり聞いたりしているかと思えます。御殿場教会でも緊急事態宣言が県や市に出た時点で主日礼拝の出席人数の制限を行うことを既に決定しています。

感染状況の中、このような繰り返しを私たち人間は果たして苦手とするのか、得意としているのかと考えますと、おそらく苦手としているのではないかと思われま

す。確かに何事も繰り返し返せば繰り返すほど練度は増すのですが、出来事としての重要性はかえって薄れるものです。そして今日も明日も明後日も同じ日常が繰り返し返されることに人は悪い意味で安心を覚えることがあります。

これに対し、聖書は私たち人間の日常とその人生を、同じことの連続や繰り返しだと

は言いません。天地万物が神様によって創造されたのには神様の目的があり、その目的である、この世の終わり・終末に向かつて世界は今、まさに歩み続けているのだとい

ます。その歩みの中で私たちは神様の目的の全てを知ることはできません。しかし神様が御自身の目的のために神の子イエス・キリストをお遣わしになったということ、このお方が私たちのために何をしてくださったのかは、聖書の御言葉が語ってくれています。

神の大切な独り子である、イエス・キリストが与えられた、この世界とあなたは、神に愛されている。このような聖書のメッセージをしっかりと受け止め、真の神に信頼し、神様と共に、より良く歩んでいくのがフリスチャンの歩みです。

同じような日々を繰り返し返すのではなく、終わりの日へと向かう道を神様と共に着実に歩んでいきたいものです。

家族介護教室を開催しました

勝俣 千絵

今年で二度目となる「御殿場市家族介護教室」を開催いたしました。この介護教室とは御殿場市から委託を受け、地域の方の介護力向上や介護に興味のある方、介護されているご家族の方の交流を目的として実施しているものになります。感染対策を徹底した上で二回の教室を開催して、十数名の方に参加いただきました。そして何より「本当に勉強になったよ」「またやってくださいね」「貴重な時間が過ごせたよ」温かな言葉、笑顔をたくさんいただきました。来年度も地域の皆様に喜んでいただけるような企画を用意しお待ちしております。



↑会場の様子
感染症対策を徹底しながら実施しました。

1回目

「ご自宅での移動介助のコツ

老いていく家族をどのように家族が支えていけばいいのかはどのご家庭でも悩まれることかと思えます。その中でも「立ち上がり」や「起き上がり」「歩行」をどのように手を貸してあげればいいのかわからないというご意見をいただき移動や移乗の方法を橋本理学療法士にご講演いただきました。



↑1回目の様子



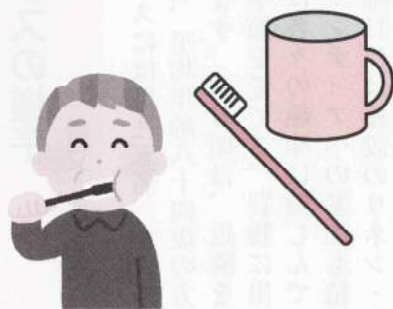
2回目

いつまでもおいしく食べて 元気に過ごそう!!

食べることは楽しみであり、生きるためには大切なことです。しかし高齢になってくると噛むことや飲み込みが悪くなったりします。高齢者の口腔内の状態や必要なケアの実技を交えながら斉藤歯科衛生士にわかりやすくご講演いただきました。口腔ケアがいかに大切なのか参加された皆様にとっても考えるきっかけになったようです。



↑2回目の様子



クリスマスの行事

田代 みどり

今年もコロナ禍の中でクリスマスを迎えることになり、十二月八日クリスマススクワイヤー、十二月九日クリスマス礼拝を行いました。クワイヤーではあらかじめ録音してあった讃美歌の音声と共に最少人数で廻りました。厳かな中にも清らかに灯る明かりに励まされる思いでした。

クリスマス礼拝には御殿場教会の小林牧師を迎え、会場に集う事が出来ない方に放送を流し、同じ時を持って頂くようにしました。



クリスマスバージョンのフラワーアレンジメントにも挑戦し、雰囲気をもっと素敵なものにしてみました。



新年挨拶会の様子

今年度入職した職員と共に新年を祝い挨拶に回りました。新職員の勝間田さんが寅年にちなんで虎のマスクをかぶって挨拶会をみんなで盛り上がりました。



カンパニー!!



突然の虎のマスクにどっきり・にっこり・ほっこりと!



ケアハウス

ケアハウスの様子

勝又 加津子

現在ケアハウスには男性五名、女性二十五名の計三十名、平均年齢八十四歳の方々が居住しています。平日頃は、近隣を散歩して自然と季節を愛でる、買物に出かける、あるいは各々の趣味に勤しんでいます。またボランティアへの参加も積極的に、毎週土曜日には施設のリネン・洗濯室で日常使われる大量のタオル等のため・整理をしてくださっています。先日も依頼があり衣類の名札付けをして頂き、大変助かりました。

これからも皆様には、健康で穏やかな日々を過ごしていただきたいと思います。



グループホーム 笑みの里

笑みの里 ゆく年くる年

毎年恒例の笑みの里の年末年始のイベント忘年会・新年会です。
忘年会ではご馳走を召し上がりながら1年間の労をねぎらい、職員による催し物を楽しんでいただきました。
新年会では元旦の朝に近所のお八幡神社へ初詣へと出かけるのが毎年恒例の行事となっています。初詣を終え、おせち料理に舌つづみを打ち、午後はお正月ならではのレクリエーションを楽しまれています。



忘
年
会

普段あまり口にする機会のないお寿司や天婦羅に舌つづみ。
今年も一年お疲れ様でした。

ユニット対抗ジェスチャーゲーム。
職員の熱演もむなしく「そんなのじゃ分からないよ」などと厳しいお言葉…

新
年
会



皆さんどんな願い事をしたのかな？
それにしても寒い…

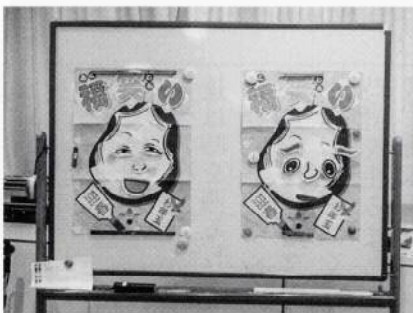
お正月恒例のお遊びのひとつ、福笑い。「そこじゃないよ」などと周囲の指示を受け、どんな顔ができるかな？

デイサービス

御殿場デイサービスセンター

福笑い

新年の遊びの定番「福笑い」を皆さんに楽しんでいただきました。同じ「目」「鼻」「口」を置いていつているのに、なぜか出来上がったおかめの顔は、困り顔、泣き顔、怪しい笑顔。個性豊かな「おかめ」の登場に、大笑いの日でした。



本日の「福笑い大賞」は、こちらです。

お口は顔の中に入れてあげてくださいねえ。おかめさんが喋れなくなっちゃいますよお。

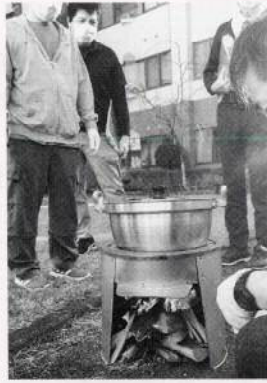
「あれ？これ鼻だよねえ。口の下にあってちやいけないうね。口はどこよお」
なぜか怪しいおかめさん。

防災訓練

御殿場十字の園・防災委員

私達職員は月に一度防災訓練を行って火災や天変地異等の不測の事態の際に慌てず、的確に、入居されている方々を守り、安全・安心、確実に避難できるように訓練しています。

防災倉庫は保存食、飲料水、器具が保管されています。炊き出しに必要な器具を取り出し、火をおこして非常食料を準備します。



各フロアーには消火器が必要数設置されています。最寄りの消火器を持って、火災発生場所に駆けつけて、初期消火を行います。



災害時に給水タンクから水を取り出します。複数のバルブ(元栓)を順番に開いて行って緊急用蛇口から水を出します。



火災時には、各階に設置されている消火栓の扉を開いて放水ホースを伸ばします。最低限二名の連携が必要です。放水先端金具をしっかりと持って準備ができたなら声をかけて、バルブを開きます。勢いよく水が出ますので火元に向けて放水します。



全館にむけて災害の発生、発生場所、避難経路を「ゆっくり」「はっきり」「わかりやすく」放送します。

あとがき

この寒い季節、窓際の日差しの暖かさに幸せを感じます。この暖かさと共に私達は時を測る日時計を知り、次に水時計・漏刻を創り、奈良時代に鑑真が伝えた香から、鐘を撞く時を知る香時計を生みました。江戸時代の授業時間、芸妓のお座敷の座敷が務まれば一人前、「一本立ちする」は此処から生まれたと言います。香り、目視、本数から香による「時」という基準を持てるようになりました。香りはお届けできませんが時の移ろいを文字に託してこの機関誌をお手元に。(やまもと)

